

# 活用編 もくじ

活用編 もくじ.....	1
本書をお読みにする前に .....	3

## 1章 パソコンの機能を活用する.....5

<b>1</b> テレビや外部ディスプレイを接続する.....	6
<b>1</b> HDMI <sup>®</sup> 出力端子に接続する／取りはずす .....	6
<b>2</b> 表示を切り替える.....	8
<b>2</b> サウンド.....	9
<b>1</b> スピーカーの音量を調整する .....	9
<b>2</b> マイクやヘッドホンを接続する.....	10
<b>3</b> ハードディスク .....	12
<b>4</b> メディアカードを使う ーブリッジメディアスロットー .....	13
<b>1</b> 使えるメディアカードについて.....	13
<b>2</b> メディアカードをセットする／取り出す .....	14
<b>5</b> USB対応機器を使う .....	15
<b>1</b> USBの常時給電と高速充電 .....	16
<b>2</b> USB対応機器を取り付ける／取りはずす .....	17
<b>6</b> LAN機能を使う .....	18
<b>1</b> 有線LANで接続する .....	18
<b>2</b> 無線LANで接続する .....	19
<b>7</b> Bluetooth <sup>®</sup> 機能を使う .....	22
<b>8</b> 便利な機能 .....	24
<b>1</b> eco 充電モードを設定する .....	24
<b>2</b> パネルオープンパワーオンを設定する.....	24

## 2章 認証機能を設定する ..... 25

<b>1</b>	<b>システムパスワードを設定する</b> .....	<b>26</b>
<b>1</b>	スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードを設定する .....	28
<b>2</b>	HDDパスワードを設定する .....	32
<b>3</b>	パスワード入力時の注意 .....	37
<b>2</b>	<b>WindowsパスワードとPIN</b> .....	<b>38</b>
<b>3</b>	<b>指紋認証を使う</b> .....	<b>40</b>
<b>1</b>	指紋を登録する .....	40
<b>2</b>	指紋認証を行う .....	42
<b>3</b>	指紋データを消去する .....	42
<b>4</b>	<b>顔認証を使う</b> .....	<b>43</b>
<b>1</b>	顔の情報を登録する .....	43
<b>2</b>	顔認証を行う .....	44
<b>3</b>	顔データを消去する .....	44

# 本書をお読みになる前に

本製品を安全に正しく使うために、次のマニュアルも合わせてお読みください。

参照先	編名称	内容
『オンラインマニュアル』 または 当社ホームページ 「dynabook.com」	安心してお使い いただくために	本製品を使用する際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項について説明しています。 <b>※本製品を使用する前に、必ずお読みください。</b>
	取扱説明書	各部名称や接続方法、電源の入れかた／切りかたなど、本製品の基本的な使用方法について説明しています。本製品を初期状態に戻す方法やサポート情報についても説明しています。



# 1 章

## ■ パソコンの機能を活用する

パソコン本体に用意されている、さまざまな機能について説明しています。



# 1

# テレビや外部ディスプレイを接続する

## 1章

### 1 HDMI® 出力端子に接続する / 取りはずす

#### メモ

- HDMI®対応機器すべての動作を保証するものではありません。
  - 接続するHDMI®ケーブルは、市販のものを使用してください。
  - HDMI®ケーブルは、HDMI®ロゴ（）の表示があるケーブルを使用してください。
  - 1,920 × 1,080 ドット以上の解像度の出力には、ハイスピードHDMI®ケーブルを使用してください。なお、使用時には解像度の変更が必要です。解像度については、タスクバーの検索ボックス（）で、「解像度」と入力して検索してください。
  - 表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。
  - テレビや外部ディスプレイへの出力形式の設定は変更できます。
- 参照**▶ [「表示を切り替える（8ページ）」](#)
- 著作権保護された映像などをテレビや外部ディスプレイに表示するためには、HDCPに対応したテレビや外部ディスプレイを接続してください。

### 1 接続する

- 1 HDMI®ケーブルのプラグを、テレビまたは外部ディスプレイのHDMI®入力端子に差し込む
- 2 テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れる
- 3 HDMI®ケーブルのもう一方のプラグを、パソコン本体のHDMI®出力端子に差し込む

**参照**▶ パソコン本体のHDMI®出力端子の位置『取扱説明書 1章 **1** 各部の名称』

#### メモ

- HDMI®接続で、テレビまたは外部ディスプレイに映像を映しているとき、HDMI®ケーブルを抜いたあと、再度HDMI®ケーブルを接続する場合は5秒以上間隔をあけてください。

## □ 音声の出力をパソコン本体のスピーカーからテレビなどに切り替える





HDMI<sup>®</sup>ケーブルでテレビや外部ディスプレイを接続すると、自動的に音声の出力先がテレビや外部ディスプレイに切り替わります。

テレビや外部ディスプレイを接続しても音声切り替わらない場合は、次の設定を行ってください。

### メモ

- 手で音声の切り替えを行う場合、あらかじめ表示方法を [複製]、[拡張]、[セカンドスクリーンのみ] のいずれかに設定しておく必要があります。

**参照**▶ [「表示を切り替える \(8ページ\)」](#)

- 1 [スタート] ボタン (  ) をクリックする
- 2 [Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリックする
- 3  [ハードウェアとサウンド] →  [サウンド] をクリックする  
[サウンド] 画面が表示されます。
- 4 [再生] タブでテレビのアイコン (  ) がある項目を選択し、[既定値に設定] ボタンをクリックする
- 5 [OK] ボタンをクリックする

この設定を行うと、パソコン本体から音声が出されなくなります。テレビや外部ディスプレイを取りはずし、パソコン本体からの音声出力に戻す場合は、手順 **4** で [スピーカー] を選択し、[既定値に設定] ボタンをクリックしてください。

## 2 取りはずす

- 1 HDMI<sup>®</sup> 出力端子から HDMI<sup>®</sup> ケーブルのプラグを抜く

## 2 表示を切り替える

**FN** キーを押したまま **F4** キーを押すと、表示装置を選択する画面が表示されます。



(表示例)

**FN** キーを押したまま **F4** キーを数回押し、目的の項目を選択すると、表示装置が切り替わります。

項目	概要
PC画面のみ	本体ディスプレイだけに表示します。
複製	本体ディスプレイと、テレビまたは外部ディスプレイの2つの表示装置それぞれに、同じ内容を表示します。
拡張	本体ディスプレイと、テレビまたは外部ディスプレイの2つの表示装置を、1つの画面として表示します。
セカンドスクリーンのみ	テレビまたは外部ディスプレイだけに表示します (本体ディスプレイには何も表示されません)。

### メモ

- テレビ／外部ディスプレイと本体ディスプレイを同時表示させる場合は、同時表示の種類や設定に合った色数／解像度で表示されます。
- 表示を切り替えたとき、システムによって自動的に解像度を変更される場合があります。
- テレビ／外部ディスプレイに表示する場合、表示位置や表示幅などが正常に表示されない場合があります。この場合は、テレビ／外部ディスプレイ側で、表示位置や表示幅を設定してください。
- 拡張表示は、「タブレットモード」をオフに設定している場合のみ有効です。
- 映像を再生するアプリケーションを起動しているときは、表示装置を切り替えられません。  
なお、ご使用の環境やアプリケーションにより複製表示、拡張表示での再生はサポートしていません。
- 著作権保護された映像を、HDMI® 出力端子に接続したテレビ／外部ディスプレイに表示したい場合は、テレビ／外部ディスプレイだけに表示するよう設定してください。
- 省電力の設定によりテレビ／外部ディスプレイの表示が消えた場合は、キーあるいはタッチパッドの操作により表示が復帰します。スリープに移行した場合は、電源スイッチを押してください。表示が復帰するまで10秒前後かかる場合がありますが、故障ではありません。



# 2 サウンド

## 1 スピーカーの音量を調整する

スピーカーの音量は、次の方法で調整できます。

音量はWindowsで制御しているため、Windows起動時や電源を切っているときは、音量変更はできません。



### 1 FN + F9 または FN + F10 キーで調整する

#### 1 音量を小さくしたいときは FN + F9 キー、大きくしたいときは FN + F10 キーを押す

FN キーを押したまま F9 キーを押すたびに音量が小さくなり、FN キーを押したまま F10 キーを押すたびに音量が大きくなります。

### 2 音量ミキサーから調整する

#### 1 通知領域の アイコンを右クリックし、表示されたメニューから [音量ミキサーを開く] をクリックする

通知領域に  アイコンが表示されていない場合は、[スタート] ボタン (  ) → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [システム音量の調整] をクリックしてください。

[音量ミキサー] 画面が表示されます。

#### 2 各項目でつまみを上下にドラッグして調整する

[ミュート] ボタン (  ) をクリックすると消音 (ミュート) になります。

スピーカー／ヘッドホン	本製品のスピーカー／ヘッドホンの音量を調整します。
システム音	Windowsのプログラムイベント (メッセージの表示、システムエラーなどの動作) で再生されるサウンド設定の音量を調整します。

#### メモ

- インテル® ハイ・デフィニション・オーディオ準拠。
- キャプチャソフトなどを使用して、パソコンで再生中の音声を録音することはできません。

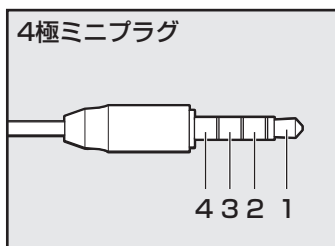
## 2 マイクやヘッドホンを接続する

### 1 章

#### 1 使用できる端子の種類

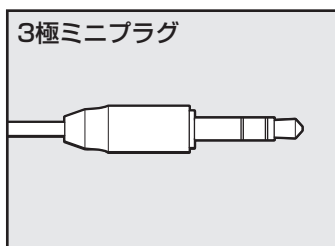
マイク入力/ヘッドホン出力端子に接続できる端子の種類は次のとおりです。

**参照** ▶ パソコン本体のマイク入力/ヘッドホン出力端子の位置『取扱説明書 1 章 **1** 各部の名称』



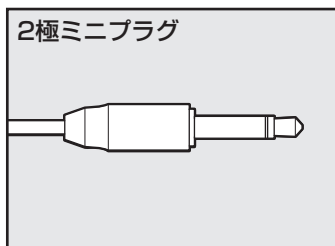
- プラグは直径3.5mm4極ミニプラグタイプが使用できます。
- 左図の数字は、次の内容を示します。
  - 1：ヘッドホン左
  - 2：ヘッドホン右
  - 3：グラウンド（マイク）
  - 4：マイク（グラウンド）
- 3ピンと4ピンのグラウンドとマイクは、本製品が自動識別します。
- マイク機能のみ、ヘッドホン機能のみを使用する場合、設定の変更を行う必要があります。

**参照** ▶ [「マイク/ヘッドホンを選択する（11ページ）」](#)



- プラグは直径3.5mm3極ミニプラグタイプが使用できます。
- マイク、ヘッドホンが使用できます。
- 設定の変更を行う必要があります。

**参照** ▶ [「マイク/ヘッドホンを選択する（11ページ）」](#)



- 直径3.5mm2極ミニプラグタイプのマイクでもマイク本体にバッテリーなどを搭載し、電源供給を必要としないマイクであれば使用できます。
- 設定の変更を行う必要があります。



**参照** ▶ [「マイク/ヘッドホンを選択する（11ページ）」](#)

音声認識ソフトとあわせて使用する場合は、各アプリケーションの取り扱い元が推奨するマイクを使用してください。

すべてのマイク、ヘッドホン、ヘッドセットに対応するものではありません。

## 2 マイク／ヘッドホンを選択する

ご使用のマイク／ヘッドホンを選択します。

- 1 マイクまたは、ヘッドホンを接続する
- 2 [スタート] ボタン (  ) をクリックする
- 3 [Realtek Audio Console] をクリックする
- 4 画面左側の [デバイス詳細設定] をクリックする
- 5  の横にあるプルダウンメニューからデバイスを選択する
- 6 [閉じる] ボタン ( × ) をクリックする

# 3 ハードディスク

## 1章

### パソコンの機能を活用する

HDD搭載モデルには、ハードディスクドライブが搭載されています。

本体のハードディスクドライブは、取りはずしできません。

USB接続型のハードディスクドライブなどを使用して記憶容量を増やすことができます。

#### お願い

- パソコンを激しく揺らしたり、強い衝撃を与えると、故障の原因となる場合があります。
- ハードディスクに記録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証できません。万が一故障した場合に備え、バックアップをとることを推奨します。

## SSDについて

### \* SSD搭載モデルのみ

SSD搭載モデルは、補助記憶装置として、フラッシュメモリを記憶媒体とするドライブを搭載しています。SSD（ソリッドステートドライブ）とは、ハードディスクの記憶媒体である磁気ディスクの代わりに、NANDフラッシュメモリを使用した大容量記憶媒体です。

SSDの補助記憶装置としての機能は、ハードディスクドライブと同等です。

以下の機能についてもご利用いただけます。

#### ● BIOSセットアップ

BIOSセットアップ画面には「HDD/SSD」と表示されますが、SSDでも同様の動作をします。

#### ● HDDパスワード

ハードディスクドライブ同様、登録可能です。

本書および付属の説明書では、HDDとSSDをまとめて「ハードディスク」と呼びます。

### 1 使えるメディアカードについて

- SDメモリーカード (SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを含む) \*1\*2
- miniSDメモリーカード (miniSDHCメモリーカードを含む) \*1\*2
- microSDメモリーカード (microSDHCメモリーカード、microSDXCメモリーカードを含む) \*1\*2
- マルチメディアカード\*1\*3

\*1 すべての記録メディアの動作を保証するものではありません。

\*2 SDIOカードには対応していません。

\*3 SecureMMCには対応していません。

本書では、特に区別して説明する場合を除き、SDメモリーカード、miniSDメモリーカード、microSDメモリーカードを「SDメモリーカード」と呼びます。

#### お願い

- miniSDメモリーカード、microSDメモリーカードは、市販のSDメモリーカード変換アダプターが必要です。  
アダプターを使用しないで直接挿入すると、取り出せなくなります。



**参照** 変換アダプターの装着や使用方法『メディアカードに付属している説明書』

\* イラストは、実際のものとは異なる場合があります。

#### メモ

- コンパクトフラッシュメモリーカードなどは使用できません。使用する場合はUSB経由で周辺機器（デジタルカメラなど）を接続するか、専用のカードリーダーをご使用ください。
- 新品のメディアカードは、メディアカードの規格に合わせてフォーマットされた状態で販売されています。フォーマットとは、メディアカードを使えるようにすることです。フォーマットされていないものを購入した場合や再フォーマットをする場合は、メディアカードを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤーなど）で行ってください。

## 2 メディアカードをセットする／取り出す

### 1 章

### パソコンの機能を活用する

**お願い** メディアカードの使用にあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

**参照**▶ メディアカードを使うにあたって『取扱説明書』

### 1 セットする

**1** メディアカードの表裏を確認し、コネクタ部分（金色の部分）を下にして、ブリッジメディアスロットに挿入する


奥まで挿入します。


**参照**▶ パソコン本体のブリッジメディアスロットの位置『取扱説明書 1章 1 各部の名称』

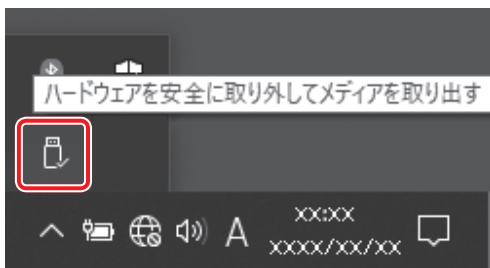
### 2 取り出す

メディアカードに保存しているファイルを使用していたり、ウィンドウを開いたりしていると、取り出しができません。ファイルやウィンドウを閉じてから、操作を行ってください。

**1** メディアカードの使用を停止する

① 通知領域の[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す] アイコン(  ) をクリックする

\* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、  をクリックしてください。



(表示例)

② 表示されたメニューから取り出すメディアカードの項目をクリックする

**2** メディアカードを押す

カードが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

ユーザー

USB 対応機器は、電源を入れたまま取り付け／取りはずしができます。

また、初めて接続する周辺機器を認識すると、システムがドライバーの有無をチェックし、自動的にインストールを行うプラグアンドプレイに対応しています。

USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。

## ■ USBコネクタについて

USB コネクタには、USB3.1 (Gen1) /USB3.0/USB2.0/USB1.1 対応機器を取り付けることができます。

## ■ USB Type-C™ コネクタについて

USB Type-C™ コネクタには、USB3.1 (Gen1) /USB3.0/USB2.0/USB1.1 対応機器を取り付けることができます。

## ■ USBケーブルについて

市販のUSB 対応機器を接続する場合は、パソコン本体に接続する側のプラグが、USB Type-C™ のものを使用してください。もし、USB Type-C™ ではない場合は、USB Type-C™ 変換アダプターなどが必要です。

**参照** ▶ USB 対応機器の詳細『USB 対応機器に付属している説明書』

## 1 USBの常時給電と高速充電

### 1 章

### パソコンの機能を活用する

#### 1 USBの常時給電

⚡アイコンが付いているUSBコネクタでは、パソコンが電源OFF、スリープ、休止状態でも、USBコネクタにUSBバスパワー（DC5V）を供給することができます（スリープアンドチャージ機能が有効の場合）。

本機能を利用して、USBに対応する携帯電話や携帯型デジタル音楽プレーヤーなどの外部機器の使用および充電ができます。

\* USBケーブルは本製品に含まれていません。別途ご使用の機器に対応したケーブルを準備してください。

なお、本機能はすべてのUSB対応機器の使用および充電を保証するものではありません。

#### 設定方法

本機能はご購入時の設定では無効になっています。

本機能を有効にするには、BIOSセットアップで [Sleep and Charge] を「Enabled」に設定してください。

**参照** ▶ BIOSセットアップについて『BIOS編』

#### 2 USBの高速充電

⚡アイコンが付いているUSBコネクタでは、接続したUSB対応機器を高速に充電できます。

\* USBケーブルは本製品には含まれていません。別途ご使用の機器に付属の高速充電に対応したケーブルを準備してください。

なお、本機能はすべてのUSB対応機器の充電を保証するものではありません。

#### ■ 電源OFF、スリープ、休止状態での高速充電について

接続するUSB対応機器とUSBケーブルが2.0A充電に対応している場合、パソコンが電源OFF、スリープ、休止状態のときに、USBコネクタにUSBバスパワー（DC5V）を最大1.5Aまで供給し、短時間で充電できます。

本機能はご購入時の設定では無効になっています。

「スリープアンドチャージ」の設定を有効にすると本機能も有効になります。

**参照** ▶ スリープアンドチャージを有効にする [「USBの常時給電（16ページ）」](#)

#### ■ システムON CDPチャージモードでの高速充電について

電源ON時に、USBコネクタにUSBバスパワー（DC5V）を最大1.5Aまで供給し、短時間で充電できます。

本機能はご購入時の設定では有効になっています。

バッテリー駆動時間を長くしたいなどの理由で本機能を無効にする場合は、BIOSセットアップで [System ON CDP Charge Mode] を「Disabled」に設定してください。

**参照** ▶ BIOSセットアップについて『BIOS編』



## 2 USB対応機器を取り付ける／取りはずす

### 1 取り付ける

#### 1 USBケーブルのプラグをUSB対応機器に差し込む

この手順が必要ない機器もあります。

**参照**▶ USB対応機器の詳細『USB対応機器に付属している説明書』

#### 2 USBケーブルのもう一方のプラグを、パソコン本体のUSBコネクタまたはUSB Type-C™コネクタに差し込む


プラグの向きを確認して差し込んでください。


**参照**▶ パソコン本体のUSBコネクタやUSB Type-C™コネクタの位置  
『取扱説明書 1章 1 各部の名称』

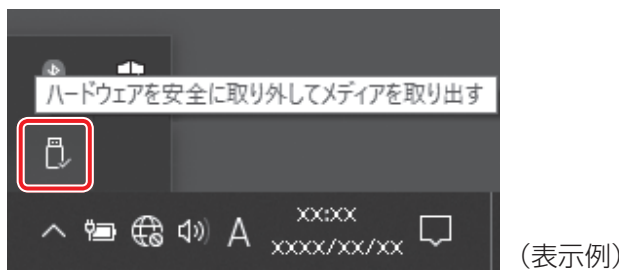
### 2 取りはずす

USB対応機器に保存しているファイルを使用していたり、ウィンドウを開いたりしていると、取り出しができません。ファイルやウィンドウを閉じてから、操作を行ってください。

#### 1 USB対応機器の使用を停止する

① 通知領域の[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコン(  )をクリックする

\* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、  をクリックしてください。  
この操作を行ってもアイコンが表示されないUSB対応機器は、手順 2 に進んでください。



② 表示されたメニューから取りはずすUSB対応機器の項目をクリックする

#### 2 パソコン本体とUSB対応機器に差し込んであるUSBケーブルのプラグを抜く

# 6 LAN機能を使う

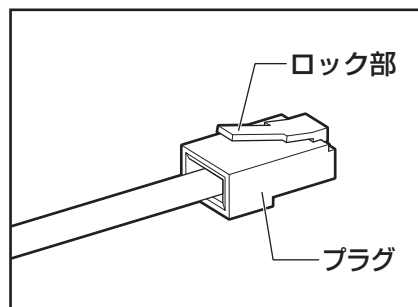
## 1章

### 1 有線LANで接続する

#### 1 LANケーブルを接続する

LANケーブルをはずしたり差し込むときは、プラグの部分を持って行ってください。また、はずすときは、プラグのロック部を押しながらずしてください。ケーブルを引っ張らないでください。

LANケーブルは本製品には付属していません。市販のLANケーブルを購入してください。



#### お願い LANケーブルの操作にあたって

- LANケーブルのプラグのロック部が大きいものや特殊なものは、パソコン本体のLANコネクタに差し込めない場合があります。
- 有線LANを使用中に、LANケーブルのプラグに触れないでください。プラグに強い力が加わると、通信不良が起こったり、LANコネクタやプラグが破損するおそれがあります。

#### 1 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る

#### 2 パソコン本体のLANコネクタのカバーを下げながら、LANケーブルのプラグを差し込む

ロック部の向きに注意して、差し込んでください。

**参照**▶ パソコン本体のLANコネクタの位置『取扱説明書 1章 1 各部の名称』

#### 3 LANケーブルのもう一方のプラグを、接続先のネットワーク機器のコネクタに差し込む

接続する機器により、以降の設定方法は異なります。

**参照**▶ 光回線終端装置の設定について『プロバイダーなどから送られてくる資料』

**参照**▶ ブロードバンドルーターの設定について『ブロードバンドルーターに付属している説明書』

## 2 無線LANで接続する

\* 無線LAN機能搭載モデルのみ

### 警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す  
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る  
パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
  - ・ 無線通信機能は、**[FN]** + **[F12]** キーを押してOFFにすることができます。**[FN]** + **[F12]** キーを押して「機内モード オン」に設定してください。
  - ・ スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  - ・ 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
  - ・ ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

### お願い

- 『取扱説明書』に、セキュリティに関する注意事項や使用上の注意事項を説明しています。無線LANを使用する場合は記述をよく読んで、セキュリティの設定を行ってください。

**参照** ▶ デイリーケアとアフターケア『取扱説明書』

## 1 無線LANアクセスポイントと接続する

## 1章

## パソコンの機能を活用する

## 1 無線LANアクセスポイントの電源を入れる

**参照**▶ 無線LANアクセスポイントの操作の詳細について  
『無線LANアクセスポイントに付属している説明書』


## 2 パソコンの電源を入れ、パソコン本体の無線通信機能をONにする

[FN]キーを押したまま[F12]キーを押すたびに、無線通信機能のON/OFFが切り替わります。

機内モード オフ：無線通信機能ON

機内モード オン：無線通信機能OFF

3 通知領域の  アイコンをクリックする

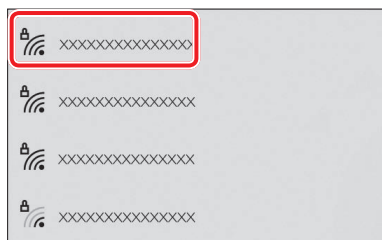
\*通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 をクリックしてください。

パソコンの周囲にあるワイヤレス ネットワーク（無線LANアクセスポイント）のSSIDの一覧が表示されます。

## 4 接続するワイヤレスネットワークをクリックする

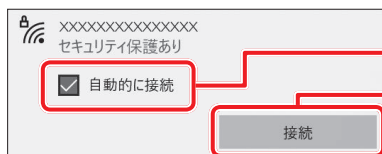
環境によっては、近隣で使用されているワイヤレスネットワークのSSIDが表示される場合があります。必ず目的のワイヤレスネットワークを選択してください。

以前接続したワイヤレスネットワークのセキュリティ情報がパソコンに記憶されている場合は、自動的に接続されます。



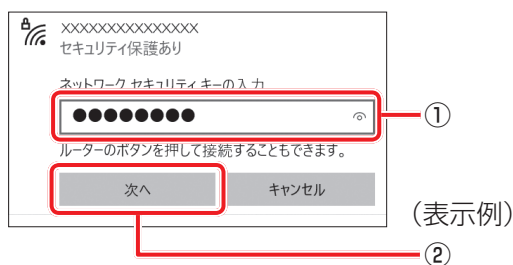
(表示例)

## 5 [自動的に接続] をチェックし①、[接続] ボタンをクリックする②



(表示例)

## 6 ネットワークセキュリティキーを入力して①、[次へ] ボタンをクリックする②



以降は、画面の指示に従って操作してください。

選択する項目、データ暗号化の方式、セキュリティキーなどは、正しく設定してください。正しく設定していない場合、無線LANアクセスポイントに接続できない場合があります。

**参照** ▶ 『無線LANアクセスポイントに付属している説明書』

\* Bluetooth<sup>®</sup>機能搭載モデルのみ

## 警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す  
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る  
パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
  - ・ 無線通信機能は、**FN** + **F12** キーを押してOFFにすることができます。**FN** + **F12** キーを押して [機内モード オン] に設定してください。
  - ・ スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  - ・ 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
  - ・ ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

## メモ

- Bluetooth<sup>®</sup>のバージョンによっては本製品と通信できないBluetooth<sup>®</sup>対応機器があります。本製品に搭載されているBluetooth<sup>®</sup>機能のバージョンについては、次の説明を確認してください。  
**参照** 無線LAN/Bluetooth<sup>®</sup>について『準備/困ったときは編』
- 2.4GHz帯の無線LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。

## 1 Bluetooth® 対応機器と接続する

### 1 Bluetooth® 対応機器の電源を入れ、Bluetooth® 機能をONにする

**参照**▶ Bluetooth® 対応機器の操作方法の詳細『Bluetooth® 対応機器に付属している説明書』

### 2 **FN** + **F12** キーを押して、パソコン本体の無線通信機能をONにする

**FN** キーを押したまま **F12** キーを押すたびに、無線通信機能のON/OFFが切り替わります。

機内モード オフ：無線通信機能ON

機内モード オン：無線通信機能OFF

### 3 [スタート] ボタン ( ) をクリックする

### 4 [設定] をクリックする

[設定] 画面が表示されます。

### 5 [デバイス] をクリックする

[デバイス] 画面が表示されます。

### 6 [Bluetoothとその他のデバイス] をクリックして、[Bluetooth] を [オン] に設定する

[オン] にすると、パソコン本体のBluetooth® 機能がONになります。

### 7 [Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する] をクリックする

以降は、画面の指示に従って設定してください。

## 1 eco充電モードを設定する

「eco充電モード」を有効にすると、バッテリーフル充電時の容量をおさえて、バッテリーの機能低下を遅らせることができます。パソコンの電源コードとACアダプターをコンセントに接続したまま使用される方におすすめです。ただし、バッテリーのフル充電の容量が少なくなるため、バッテリーでの駆動時間は短くなります。

本機能を有効にするには、BIOSセットアップで [eco Charge Mode] を「Enabled」に設定してください。

**参照** ▶ BIOSセットアップについて『BIOS編』

### メモ

- モデルによっては、eco充電モードで規定値以上充電されると、バッテリーへの充電は一時的に停止されます。

## 2 パネルオープンパワーオンを設定する

パネルオープンパワーオン機能は、ディスプレイを開くと自動的にパソコンの電源が入る機能です。

本機能を有効にするには、BIOSセットアップで [Panel Open - Power On] を「Enabled」に設定してください。

**参照** ▶ BIOSセットアップについて『BIOS編』



# 2章

## ■ 認証機能を設定する

本製品を使用するときの、さまざまな認証機能の設定方法について説明しています。

# 1 システムパスワードを設定する

システムパスワードには次のものがあります。

- **スーパーバイザーパスワード (BIOSパスワード)**

BIOSセットアップの設定を変更できないようにするなど、いくつかのパソコン本体の設定について制限をかけられます。スーパーバイザーが使用します。

- **ユーザーパスワード (BIOSパスワード)**

電源を入れるときや休止状態から復帰するときに、パスワードを入力しないと起動しません。ユーザーパスワードは、スーパーバイザーパスワードを設定すると使用できるようになります。

- **HDDパスワード**

本体のハードディスクを保護します。電源を入れるときにHDDパスワードを入力しないと起動しません。万が一パスワードを忘れた場合、永久にハードディスクを使用できなくなる、非常に強固なセキュリティです。

HDDユーザーパスワードとHDDマスターパスワードがあります。

## お願い

- パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種 (型番) を確認後、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口に連絡してください。  
HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクは永久に使用できなくなりますので、有料にてハードディスクを交換します。  
その他のパスワードの場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。  
またどちらの場合も、身分証明書 (お客様自身を確認できる物) の提示が必要です。

## メモ

- パスワードを登録した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えてください。
- パスワードを入力するときは、コード入力や貼り付け (ペースト) などの操作は行わず、キーボードの文字キーを押して直接入力してください。

## パスワードに使用できる文字

ユーザーパスワード、スーパーバイザーパスワード、HDDパスワードに使用できる文字は次のとおりです。

アルファベットの大文字と小文字は区別されません。

使用できる文字	アルファベット (半角)	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
	数字 (半角)	0123456789
	記号の一部 (半角)	;.:. (スペース) など
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全角文字 (2バイト文字)</li> <li>・ 日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】 漢字、カタカナ (全角/半角)、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など</li> <li>・ 記号の一部 (半角) 【例】 ! (バーチカルライン) _ (アンダーバー) ¥ (エン) など</li> <li>・ ほかのキー ( <b>SHIFT</b> キーや <b>CAPSLOCK 英数</b> キーなど ) と同時に使用しないと入力できない文字</li> </ul>	

パスワード登録時に警告メッセージが表示された場合は、登録しようとした文字列に使用できない文字が含まれています。この場合、もう一度別の文字列を入力し直してください。警告が表示されない場合も、上記「使用できない文字」に該当する文字は使用しないでください。また文字列は必ずキーボードから1文字ずつ直接入力してください。

### 1 スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードを設定する

スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードは、BIOS セットアップで設定します。

**参照** ▶ BIOS セットアップの起動方法や操作方法について『BIOS 編』

## 2 章

### 認証機能を設定する

### 1 スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードの登録

ユーザーパスワードのみを登録することはできません。

スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を登録するか、スーパーバイザーパスワードのみを登録してください。



メモ

- パスワードを登録した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。

### スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を登録する場合



メモ

- スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードでは、違うパスワードを使用してください。

**1** BIOS セットアップを起動し、[Security] メニューを選択する

**2** [Set Supervisor Password] を選択する

パスワードの入力画面が表示されます。

**3** スーパーバイザーパスワードを入力して **ENTER** キーを押す

パスワードは、10文字以内で入力します。

**参照** ▶ パスワードに使用できる文字 [「パスワードに使用できる文字 \(27ページ\)」](#)

パスワードは1文字ごとに [\*] (アスタリスク) で表示されますので、画面で確認できません。間違えないよう、気をつけて入力してください。

**4** もう一度パスワードを入力して **ENTER** キーを押す

メッセージが表示されます。

**5** **ENTER** キーを押す

スーパーバイザーパスワードが登録されます。

**6** [Set User Password] を選択する

パスワードの入力画面が表示されます。

- 7** ユーザーパスワードを入力して **ENTER** キーを押す  
パスワードの文字数や、パスワードに使用できる文字は、スーパーバイザーパスワードと同じです。
- 8** もう一度パスワードを入力して **ENTER** キーを押す  
メッセージが表示されます。
- 9** **ENTER** キーを押す  
ユーザーパスワードが登録されます。
- 10** 設定内容を保存して、BIOS セットアップを終了する

## スーパーバイザーパスワードのみを登録する場合

- 1** BIOS セットアップを起動し、[Security] メニューを選択する
- 2** [Set Supervisor Password] を選択する  
パスワードの入力画面が表示されます。
- 3** スーパーバイザーパスワードを入力して **ENTER** キーを押す  
パスワードは、10文字以内で入力します。  
**参照** ▶ パスワードに使用できる文字 [「パスワードに使用できる文字 \(27ページ\)」](#)  
パスワードは1文字ごとに [\*] (アスタリスク) で表示されますので、画面で確認できません。間違えないよう、気をつけて入力してください。
- 4** もう一度パスワードを入力して **ENTER** キーを押す  
メッセージが表示されます。
- 5** **ENTER** キーを押す  
スーパーバイザーパスワードが登録されます。
- 6** 設定内容を保存して、BIOS セットアップを終了する

## 2 スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードの削除



- スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを両方登録している場合は、スーパーバイザーパスワードを削除すると、ユーザーパスワードも同時に削除されます。

### 2章

### 認証機能を設定する

- 1 BIOSセットアップを起動し、[Security] メニューを選択する
- 2 スーパーバイザーパスワードの削除には [Set Supervisor Password] を、ユーザーパスワードの削除には [Set User Password] を選択するパスワードの入力画面が表示されます。
- 3 登録してあるパスワードを入力して **ENTER** キーを押す
- 4 何も入力しないで **ENTER** キーを押す
- 5 何も入力しないで **ENTER** キーを押す  
メッセージが表示されます。
- 6 **ENTER** キーを押す  
パスワードが削除されます。
- 7 設定内容を保存して、BIOSセットアップを終了する

### 3 スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードの変更

- 1 BIOSセットアップを起動し、[Security] メニューを選択する
- 2 スーパーバイザーパスワードの変更には [Set Supervisor Password] を、ユーザーパスワードの変更には [Set User Password] を選択する  
パスワードの入力画面が表示されます。
- 3 登録してあるパスワードを入力して **ENTER** キーを押す
- 4 新しいパスワードを入力して **ENTER** キーを押す  
パスワードは、10文字以内で入力します。  
**参照** ▶ パスワードに使用できる文字 [「パスワードに使用できる文字 \(27ページ\)」](#)  
パスワードは1文字ごとに [\*] (アスタリスク) で表示されますので、画面で確認できません。間違えないよう、気をつけて入力してください。
- 5 もう一度新しいパスワードを入力して **ENTER** キーを押す  
メッセージが表示されます。
- 6 **ENTER** キーを押す  
パスワードが変更されます。
- 7 設定内容を保存して、BIOSセットアップを終了する

# 2 HDDパスワードを設定する

\* HDDパスワード機能搭載モデルのみ

HDDパスワードは、BIOSセットアップで設定します。

## 2章

### 認証機能を設定する

### 1 注意事項

登録したパスワードの内容は、メモをとるなどして、安全な場所に保管しておくことを強くおすすめします。

#### お願い

- 万が一、登録したパスワードを忘れた場合、修理・保守対応ではパスワードを解除できません。この場合、ハードディスクは永久に使用できなくなりますので、有料にてハードディスクを交換します。ハードディスクが使用できなくなったことによる、お客様またはその他の個人や組織に対して生じた、いかなる損失に対しても、当社はいっさい責任を負いません。HDDパスワードの設定については、この点を十分にご注意いただいたうえでご使用ください。

### 2 HDDパスワードの種類

HDDパスワードには、次の2種類のパスワードがあります。

HDDマスターパスワードのみを登録することはできません。

両方のパスワードを登録するか、HDDユーザーパスワードのみを登録してください（モデルによって、HDDユーザーパスワードのみを登録できない場合もあります）。

#### ■ HDDユーザーパスワード

各パソコンの使用者自身が設定することを想定したパスワードです。

#### ■ HDDマスターパスワード

管理者などがパソコン本体の環境設定を管理／保守するために設定することを想定したパスワードです。

HDDマスターパスワードはHDDユーザーパスワードの代わりに使えます。HDDユーザーパスワードを忘れた場合でも、HDDマスターパスワードを入力してハードディスクにアクセスできます。

組織などでHDDマスターパスワードを用いた運用を検討した場合、各パソコンのユーザーに対してパソコン本体を配付する前に、あらかじめ管理者がBIOSセットアップでHDDマスターパスワードと仮のHDDユーザーパスワードを設定しておく必要があります。



### 3 HDDパスワードの登録

#### HDDマスターパスワードとHDDユーザーパスワードの両方を登録する場合

- 1 BIOSセットアップを起動し、[Security] メニューを選択する
- 2 [HDD Security] の下のデバイス名 (例: [MQ04ABF100]) を選択する
- 3 [Set Master HDD Password] を選択する  
パスワードの入力画面が表示されます。
- 4 HDDマスターパスワードを入力して **ENTER** キーを押す  
パスワードは、32文字以内で入力します。  
**参照** ▶ パスワードに使用できる文字 [「パスワードに使用できる文字 \(27ページ\)」](#)  
パスワードは1文字ごとに [\*] (アスタリスク) で表示されますので、画面で確認できません。間違えないよう、気をつけて入力してください。
- 5 もう一度パスワードを入力して **ENTER** キーを押す  
メッセージが表示されます。
- 6 **ENTER** キーを押す
- 7 [Set User HDD Password] を選択する  
パスワードの入力画面が表示されます。
- 8 HDDユーザーパスワードを入力して **ENTER** キーを押す  
パスワードの文字数や、パスワードに使用できる文字は、HDDマスターパスワードと同じです。
- 9 もう一度パスワードを入力して **ENTER** キーを押す  
メッセージが表示されます。
- 10 **ENTER** キーを押す  
HDDマスターパスワードとHDDユーザーパスワードが登録されます。
- 11 設定内容を保存して、BIOSセットアップを終了する

## HDDユーザーパスワードのみを登録する場合

モデルによって、HDDユーザーパスワードのみを登録できない場合もあります。

- 1 BIOSセットアップを起動し、[Security] メニューを選択する
- 2 [HDD Security] の下のデバイス名（例：[MQ04ABF100]）を選択する
- 3 [Set User HDD Password] を選択する  
パスワードの入力画面が表示されます。
- 4 HDDユーザーパスワードを入力して **ENTER** キーを押す  
パスワードは、32文字以内で入力します。  
**参照** ▶ パスワードに使用できる文字 [「パスワードに使用できる文字 \(27ページ\)」](#)  
パスワードは1文字ごとに [\*]（アスタリスク）で表示されますので、画面で確認できません。間違えないよう、気をつけて入力してください。
- 5 もう一度パスワードを入力して **ENTER** キーを押す  
メッセージが表示されます。
- 6 **ENTER** キーを押す  
HDDユーザーパスワードが登録されます。
- 7 設定内容を保存して、BIOSセットアップを終了する

## 4 HDDパスワードの削除



### メモ

- 搭載されているハードディスクの構成によって、HDDマスターパスワードとHDDユーザーパスワードを両方登録している場合は、どちらか一方のパスワードを削除すると、自動的にもう一方のパスワードも削除される場合があります。

また、削除したいパスワードを選択できない（削除できない）場合があります（この場合は、もう一方のパスワードを削除すると、両方のパスワードが削除されます）。

- 1 BIOSセットアップを起動し、[Security] メニューを選択する
- 2 [HDD Security] の下のデバイス名（例：[MQ04ABF100]）を選択する
- 3 HDDマスターパスワードの削除には [Set Master HDD Password] を、HDDユーザーパスワードの削除には [Set User HDD Password] を選択する  
パスワードの入力画面が表示されます。
- 4 登録してあるパスワードを入力して **ENTER** キーを押す
- 5 何も入力しないで **ENTER** キーを押す
- 6 何も入力しないで **ENTER** キーを押す  
メッセージが表示されます。
- 7 **ENTER** キーを押す  
パスワードが削除されます。
- 8 設定内容を保存して、BIOSセットアップを終了する

## 5 HDDパスワードの変更



メモ

- 搭載されているハードディスクの構成によって、HDDマスターパスワードとHDDユーザーパスワードを両方登録している場合は、変更したいパスワードを選択できない（変更できない）ことがあります。この場合は、いったん両方のパスワードを削除してから、登録し直してください。

## 2章

### 認証機能を設定する

**1** BIOS セットアップを起動し、[Security] メニューを選択する

**2** [HDD Security] の下のデバイス名（例：[MQ04ABF100]）を選択する

**3** HDD マスターパスワードの変更には [Set Master HDD Password] を、HDD ユーザーパスワードの変更には [Set User HDD Password] を選択する

パスワードの入力画面が表示されます。

**4** 登録してあるパスワードを入力して **ENTER** キーを押す

**5** 新しいパスワードを入力して **ENTER** キーを押す

パスワードは、32文字以内で入力します。

**参照** ▶ パスワードに使用できる文字 [「パスワードに使用できる文字 \(27ページ\)」](#)

パスワードは1文字ごとに [\*]（アスタリスク）で表示されますので、画面で確認できません。間違えないよう、気をつけて入力してください。

**6** もう一度新しいパスワードを入力して **ENTER** キーを押す

メッセージが表示されます。

**7** **ENTER** キーを押す

パスワードが変更されます。

**8** 設定内容を保存して、BIOS セットアップを終了する

### 3 パスワード入力時の注意

スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワード、HDDパスワードを入力するとき、続けて3回間違えると認証エラーとなり、自動的に電源が切れます。

この場合は、電源を入れ直して、再度パスワードを入力してください。

#### お願い

- パスワード入力画面で認証エラーが発生して電源が切れると、タイマー\*<sup>1</sup>、LAN\*<sup>1</sup>、USB\*<sup>1</sup>からの許可によるWake-upができませんので、電源を入れ直してください。  
本機能を使用する場合、頻繁に認証エラーが発生し電源が切れるときは、スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワード、HDDパスワードの設定を解除することをおすすめします。

\* 1 同機能を搭載しているモデルのみ

Windowsにサインインするためのパスワード／暗証番号として、WindowsパスワードとPIN（4文字以上の英数字）が用意されています。

指紋認証や顔認証を使用する場合、あらかじめ、WindowsパスワードとPINの設定を行っておく必要があります。

### お願い

- Windowsパスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口にご連絡してください。

### メモ


- PINを忘れてしまったときは、Windowsパスワードでサインインしてください。
- WindowsパスワードやPINを登録した場合は、忘れたときのために必ずWindowsパスワードやPINを控えてください。
- WindowsパスワードやPINを入力するときは、コード入力や貼り付け（ペースト）などの操作は行わず、キーボードの文字キーを押して直接入力してください。

## 1 Windowsパスワードについて

Windowsにサインインするためのパスワードを、本マニュアルでは「Windowsパスワード」と呼びます。

管理者ユーザーのWindowsパスワードは、初めてパソコンを起動しWindowsセットアップを行う際に設定します。


### Windowsパスワードの設定／変更方法

- 1 [スタート] ボタン (  ) をクリックする
- 2 [設定] をクリックする
- 3 [アカウント] → [サインイン オプション] → [パスワード] をクリックする
- 4 画面の指示に従って、Windowsパスワードを設定／変更する

## 2 PINについて

Windowsパスワードの代わりに、PIN（暗証番号）を入力してWindowsにサインインできます。PINを設定するには、あらかじめ、Windowsパスワードの設定を行っておく必要があります。

### PINの設定／変更方法

- 1 [スタート] ボタン (  ) をクリックする
- 2 [設定] をクリックする
- 3 [アカウント] → [サインイン オプション] → [Windows Hello 暗証番号 (PIN)] をクリックする
- 4 画面の指示に従って、PINを設定／変更する

\*指紋センサー搭載モデルのみ

「Windows Hello 指紋認証」を使用すると、指紋センサーに指紋を読み取らせることで、Windowsにサインインできるようになります。

WindowsパスワードやPINの代わりに、指紋の情報で、本人であることを認証する機能です。


### お願い

- 登録できる指紋データは全ユーザー合わせて最大20本です。

## 1 指紋を登録する

指紋を登録する前に、指紋を登録するユーザーアカウントに対して、WindowsパスワードとPINを設定しておく必要があります。

**参照** ▶ 設定方法 [「WindowsパスワードとPIN \(38ページ\)」](#)

- 1** 指紋を登録するユーザーアカウントでサインインする
- 2** [スタート] ボタン (  ) をクリックする
- 3** [設定] をクリックする
- 4** [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする
- 5** [Windows Hello 指紋認証] → [セットアップ] をクリックする  
[Windows Hello へようこそ] 画面が表示されます。
- 6** [開始する] をクリックする  
[ユーザーを確認しています] 画面が表示されます。
- 7** [PIN] にPINを入力する  
[指紋センサーにタッチ] 画面が表示されます。



## 8 指紋センサーに指紋を読み取らせる

指紋は数回スキャンする必要があります。

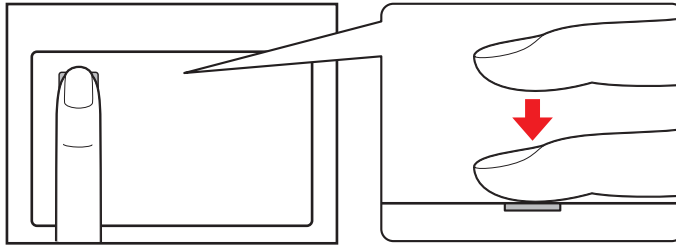
[次は別の角度で行ってください] 画面が表示された場合は [次へ] をクリックし、[すべて完了しました。] 画面が表示されるまでスキャンしてください。

続けてほかの指紋を追加する場合は、[別の指を追加] をクリックしてください。



### メモ 指紋センサーに指紋をうまく読み取らせるには

- 指紋センサーに対して指をまっすぐ出し、指を寝かせた状態で、指紋センサーの中央に当て、離してください。



## 9 [すべて完了しました。] 画面が表示されたら、[閉じる] をクリックする



### メモ

- [閉じる] をクリックして登録を終了後、ほかの指紋を追加する場合
  - ① [サインインオプション] で [他の指紋を追加] をクリックする
  - ② 手順 **6** からの操作を繰り返す


## 2 指紋認証を行う

登録した指紋を指紋センサーに読み取らせることで、Windowsへサインインできます。

- 1 ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）やサインインを求められている画面で、登録した指紋を指紋センサーに読み取らせる認証されるとメッセージが表示されます。  
Windowsにサインインします。

## 3 指紋データを消去する

パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、登録した指紋データを消去してください。指紋データの消去は、次のように行ってください。

- 1 [スタート] ボタン (  ) をクリックする
- 2 [設定] をクリックする
- 3 [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする
- 4 [Windows Hello 指紋認証] → [削除] をクリックする

### お願い 指紋データの消去にあたって

- 指紋データは、ユーザー（アカウント）ごとの消去が必要です。

\* 顔認証センサー搭載モデルのみ


「Windows Hello 顔認証」を使用すると、顔認証センサーに顔の情報を読み取らせることで、Windowsにサインインできるようになります。

WindowsパスワードやPINの代わりに、顔の情報で、本人であることを認証する機能です。

## 1 顔の情報を登録する

顔の情報を登録する前に、顔の情報を登録するユーザーアカウントに対して、WindowsパスワードとPINを設定しておく必要があります。

参照 ▶ 設定方法 [「WindowsパスワードとPIN \(38ページ\)」](#)

- 1 顔を登録するユーザーアカウントでサインインする
- 2 [スタート] ボタン (  ) をクリックする
- 3 [設定] をクリックする
- 4 [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする
- 5 [Windows Hello 顔認証] → [セットアップ] をクリックする  
[Windows Helloへようこそ] 画面が表示されます。
- 6 [開始する] をクリックする  
[ユーザーを確認しています] 画面が表示されます。
- 7 [PIN] にPINを入力する  
顔認証センサーに映った画像が表示されます。
- 8 顔認証センサーの正面に顔を向ける  
参照 ▶ 顔認証センサーの位置『取扱説明書 1章 1 各部の名称』  
顔認証センサーをまっすぐ見続けてください。  
[すべて完了しました。] 画面が表示されるまで、そのままお待ちください。
- 9 [すべて完了しました。] 画面が表示されたら、[閉じる] をクリックする


### 2 顔認証を行う

顔の情報を登録すると、顔認証センサーに顔を向けることで、Windowsへサインインできます。

- 1 ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）やサインインを求められている画面で、顔認証センサーの正面に顔を向ける  
認証されるとメッセージが表示されます。  
Windowsにサインインします。

### 3 顔データを消去する

パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、登録した顔データを消去してください。顔データの消去は、次のように行ってください。

- 1 [スタート] ボタン (  ) をクリックする
- 2 [設定] をクリックする
- 3 [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする
- 4 [Windows Hello 顔認証] → [削除] をクリックする